

資料 1

まちづくりのテーマについて

まちづくりのテーマについて

■まちづくりのテーマ及びまちづくりの方向性を定める3つの視点

視点1 「奈良県域の建設に関する計画」

奈良先端大学を中心に、主として情報通信、バイオサイエンス、ライフサイエンス、環境、ものづくり、材料等の先端的な科学技術分野を対象とする文化学術研究施設・研究開発型産業施設等の整備を図る。

視点2 「環境政策をめぐる潮流」

・SDGsの推進　・カーボンニュートラルの推進　・グリーンインフラの推進

視点3 「近年のまちづくりの潮流」

・Society5.0の実現　・新型コロナウイルスがもたらす「新しい生活様式」



■これまでのまちづくりのテーマ

『奈良先端大学を中心とした

“オープンイノベーションを創出”するまちづくり』

～超スマート社会をリードするまちを目指して～

まちづくりのテーマについて

■前回検討会での主な意見(抜粋)

- ・まちづくりの方向性として産官学の共創とあるものの、まちづくりのテーマでは「奈良先端大学を中心とした～」となっている。奈良先端大学を前提とするのではなく、産業がどう関わるのか、官がどう関わるのかをもう少し分かるようになれば良いと思う。
- ・奈良先端大学をハブにしていろんな大学との共同研究というような表現で幅を広げても良いのかと思った。
- ・奈良先端大学を中心にほかの大学も巻き込みながら広く大学の知見を得ながらまちづくりを進めて行けたらと思う。他の大学を巻き込めるような、広く知見を取り込めるような仕組みづくりについては官が関わって欲しいと思う。
- ・(世界トップレベルの研究開発型イノベーション拠点を形成しているけいはんな学研都市の強みや歴史文化の集積、災害に強い土地柄等の)高山の強みを生かしたまちづくり、「最先端の幸福都市」を目指してはどうかと思う。
- ・自然的土地利用での奈良先端大学を中心としたイメージが弱い。

まちづくりのテーマについて

■まちづくりのテーマ変更案

『奈良先端大学を中心に産学官民の連携による
“オープンイノベーションを創出”するまちづくり』

～最先端と自然・文化が共生する次世代都市を目指して～

<メインテーマ策定趣旨>

学研高山地区では学術研究都市として多様な文化、学術、産業が集積するメリットを活かし、新たなイノベーションを持続的に生み出していくために、奈良先端大学を中心とし、大学や研究施設、研究開発型産業施設、官公庁、市民などが連携する仕組みを構築し、本格的なイノベーション拠点として「新たなイノベーションを創出するまちづくり」を推進します。

<サブテーマ策定趣旨>

けいはんな学研都市が目指す最先端の技術の集積と高山地区周辺の自然・文化が共生する「高山地区」ならではの研究環境で、新たな技術や価値を創出し、日本社会をリードする、また世界へ向けて発信するサイエンスシティを目指します。